

令和5年度熊本県薬剤師確保のための調査・検討事業（事業内容・成果）

取組の背景

- ・国の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ」等において薬剤師の地域・業態間の偏在解消に向けた取り組みの必要性が指摘されるとともに、「薬剤師偏在指標」が公表され、同指標において本県全体は薬剤師少数区域には該当しないものの、熊本上益城を除く全地域で病院薬剤師を中心に偏在があることが示唆された。
- ・地域包括ケアシステム等の進展により薬剤師業務は多様化し、地域における需要に対応する人材が十分に確保できていない可能性が示唆されているが、県全体の実態や課題の把握ができていない。

事業概要（取組の特徴）

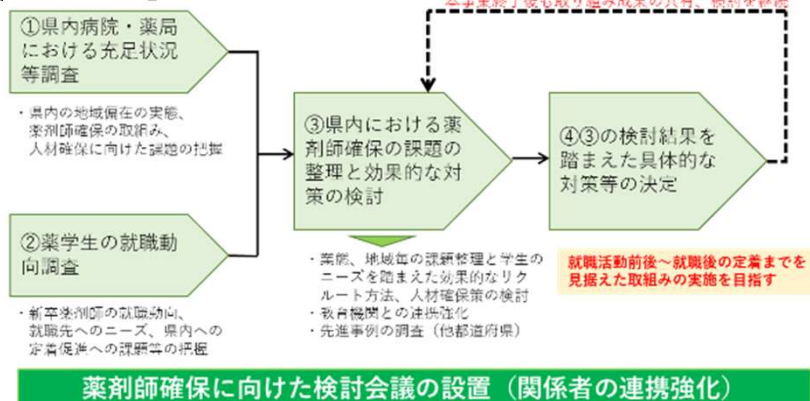
1. 事業目的

- 薬剤師確保に係る関係機関の連携体制の構築
- 県内の病院等における薬剤師の偏在及び就業状況等に関する実態把握及び課題の整理
- 県内における薬剤師偏在の是正及び薬剤師確保に向けた支援策の検討

2. 事業内容

- ①熊本県薬剤師確保対策検討会議の開催
- ②病院等における薬剤師の就業実態等調査
- ③薬学生を対象とした就職動向調査
- ④調査結果を踏まえた、薬剤師確保・偏在是正に向けた対策の検討

【事業イメージ】



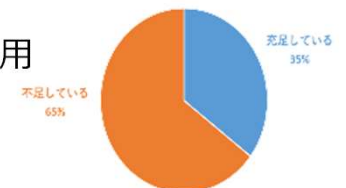
事業の成果等

1. 熊本県薬剤師確保対策検討会議等の開催

- 第1回：令和5年（2023年）8月31日
 - ・本県におけるこれまでの取り組み状況
 - ・病院等薬剤師の就業実態等調査項目の検討
- 第2回：令和6年（2024年）2月16日
 - ・病院等薬剤師の就業実態等調査結果の報告
 - ・薬剤師確保に向けた対応策の検討
- ※熊本県薬事審議会：令和5年（2023年）9月19日
 - ・第8次熊本県保健医療計画について（薬剤師確保など）

2. 病院等における薬剤師の就業実態等調査の実施

- ・県内の病院の約6割、薬局の約4割が薬剤師が充足していないと回答
- ・採用充足率（求人したものの採用に至らなかったものの割合）については約5割



【熊本県内の病院における薬剤師の充足率】

3. 本県の薬学生（4・5年次）を対象とした就職動向調査の実施

- ・卒後県内への就職希望は1割程度
- ・Uターンを検討している学生が4割
- ・業務イメージや給与格差が進路選択の主な要因となっており、情報発信の在り方、修学資金支援（返還支援含む）等の有効性について検討が必要